

令和 3 年 8 月 3 1 日

文部科学省教育関係共同利用拠点に「水産実験所」および
「附属練習船豊潮丸」が再々認定されました

文部科学省が公募する令和 3 年度「教育関係共同利用拠点」に、「広島大学大学院統合生命科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター竹原ステーション（水産実験所）」および「広島大学生物生産学部附属練習船豊潮丸」が再々認定されました。（令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日の 5 年間）

「教育関係共同利用拠点」とは、多様化する社会と学生のニーズに応えつつ質の高い教育を提供していくため、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進することで、大学教育全体として多様かつ高度な教育を展開していくことを目的として、平成 21 年 9 月に創設された文部科学大臣の認定制度です。2 施設とも、平成 24 年度の初認定から継続して認定を受けています。

来年度以降も、教育関係共同利用拠点として、我が国の社会が必要とする人材を、多様な大学と共同して効果的に教育しながら養成するとともに、実践教育を発展させて「専門技術者」を養成することを目的とし、積極的に他大学の学生を受け入れて活動を行います。

■水産実験所の再々認定後の新たな取組

生物多様性を保全しつつ、水産資源を持続可能な形で利用する海域を「里海」と定義し、その持続的利用とレジリエンス（回復力、強靱性）について瀬戸内海域をフィールドとして教育を展開する。令和 5 年度から「海洋生態系における低次生産を学ぶ演習」を新規開講する。

■附属練習船豊潮丸の再々認定後の新たな取組

SDGs 達成のためにソリューションを提供する洋上実習を新規開講するほか、動画や双方向通信を利用した課題解決型 e-learning プログラムを新規に実施する。

【お問い合わせ先】

生物学系総括支援室

総務・人事担当 清水 秀明

TEL:082-424-7904 FAX:082-424-2459